



さんばんぜ
三番瀬

**再生
目標**

生物多様性の回復／海と陸との連続性の回復
環境の持続性および回復力の確保／漁場の生産力の回復
人と自然とのふれあいの確保

DATA

エリア：国指定鳥獣保護区
(予定地)
所在地：千葉県浦安市、市川市、
船橋市、習志野市
着手：H14

三番瀬再生会議

概要：東京湾に残された三番瀬の貴重な自然を守るため、自然環境の再生保全と地域住民に親しめる海の再生を検討。



ハマシギ

三番瀬は、東京湾奥部、江戸川（放水路）河口に残された約1,800haの広大な海域で、昭和40年代から昭和50年代初期にかけて東京湾奥部一帯で行われた干潟域の埋立事業により、三方を埋立地に囲まれた現在の形状となりました。また、三番瀬にはゴカイ類、アサリ等の二枚貝、ハゼ、カレイなどの魚類が多く生息し、スズガモ、シギ・チドリ類など

の集団飛来地となっています。

しかし、海岸部の埋立てのほか、地盤沈下、家庭雑排水などによる海域の富栄養化や青潮の進入などにより環境が悪化しています。このことから、東京湾に残された三番瀬の貴重な自然を守るため、自然環境の再生保全と地域住民が親しめる海の再生を目指した取組みを進めています。

海岸線の変遷：
1945年（昭和20年）の海岸線。赤線は1998年（平成10年）の海岸線、緑線は市界。



自然再生の手法

- ▶ 行徳湿地の汽水化・干出域の拡大化→①
- ▶ 三番瀬と行徳湿地のつながりの強化→①②

生物多様性の回復や海と陸の連続性を回復し、三番瀬の自然環境を再生していくため、多様な塩分濃度を有する汽水的な環境の創出、干潟的な環境の拡大、後背湿地の回復を進めるための各種調査を実施しています。また、自然環境に関する調査結果の活用を図るためのデータベース構築やモニタリングのためのマニュアル作成等を行っています。

① 行徳湿地連携検討調査

行徳湿地の三番瀬後背湿地としての役割を踏まえ、行徳湿地と三番瀬との海水交換の促進、湿地内海域の深みの埋戻し、淡水導入による汽水域化等を図るため、導流堤の改良調査、淡水導入増量時の水質影響調査等を行っています。

三番瀬の再生のイメージ



② 三番瀬自然環境調査

三番瀬の自然や生物相について、中長期的の変動を含めた把握・評価を行うため、地形や水・底質、底生生物、魚類・藻類、付着生物、鳥類などについて定期的な調査を行っています。

関連ホームページ

三番瀬の自然再生：http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/b_soukei/sanbanze/index-j.html